

全国都市緑化かわさきフェア基本・実施計画策定の進捗状況

全国都市緑化かわさきフェア基本・実施計画原案【概要版】

目次

第1章 全国都市緑化かわさきフェアの概要	1	(3) 会場	7
第2章 みどりのまちづくり	2	(4) 出展展示	16
第3章 全国都市緑化かわさきフェア 行催事等計画		(5) 植物調達・管理	17
1. 基本的事項	3	(6) 行催事	18
2. 行催事等計画		(7) 協賛金	19
(1) 協働推進	4	(8) 飲食・物販	20
(2) 観客誘致・広報宣伝	6	(9) 会場運営・管理、交通輸送	21

●追加事項

- ① 協働：協働の具体的な取組がスタート（学校連携）
- ② 広報：市内だけでなく市外の関係人口も増やしていく
- ③ 会場：エリア全体を会場として設定
各コア会場を巡るストーリー
- ④ 協賛：協賛金募集の考え方
- ⑤ 植物：かわさきの花や日常生活に取り入れやすい植物の活用
- ⑥ 飲食・物販、会場運営等：環境に配慮したコンテンツの提供

第1章 全国都市緑化かわさきフェアの概要

背景と目的

川崎市は、令和6（2024）年7月に市制100周年を迎えます。豊富な水資源を背景に、臨海部を中心に工業が発展するとともに、徐々に北部に向かって都市が開発され、多くの樹林地が失われましたが、それと引き換えに利便性の高い都市が生まれてきました。

今、川崎市は、環境先進都市として持続的な発展を目指し、積極的にSDGsの達成や脱炭素社会の実現に寄与する取組を進めています。

緑化フェアは、こうした川崎のみどりの歴史や強み等を活かし、改めてみどりについて市民の皆さまと一緒に考え行動することで、川崎の新たなみどりの文化を醸成し、誰もが住み続けたいまちへとつなげていく、そのための大きなチャンスであると考えます。

高度に都市化が進んだ川崎市で開催することで、“川崎らしいみどり”を全国に向けて発信していきます。

<かわさきフェア開催の意義>

- 1 市民が暮らしの中で、積極的にみどりを取り入れるためのきっかけをつくること
- 2 みどりに関する機運を高め、市民の行動につなげていく契機とすること
- 3 市民の行動が新しい川崎のみどりの文化を育み、誰もが住み続けたいまちにつなげていくこと



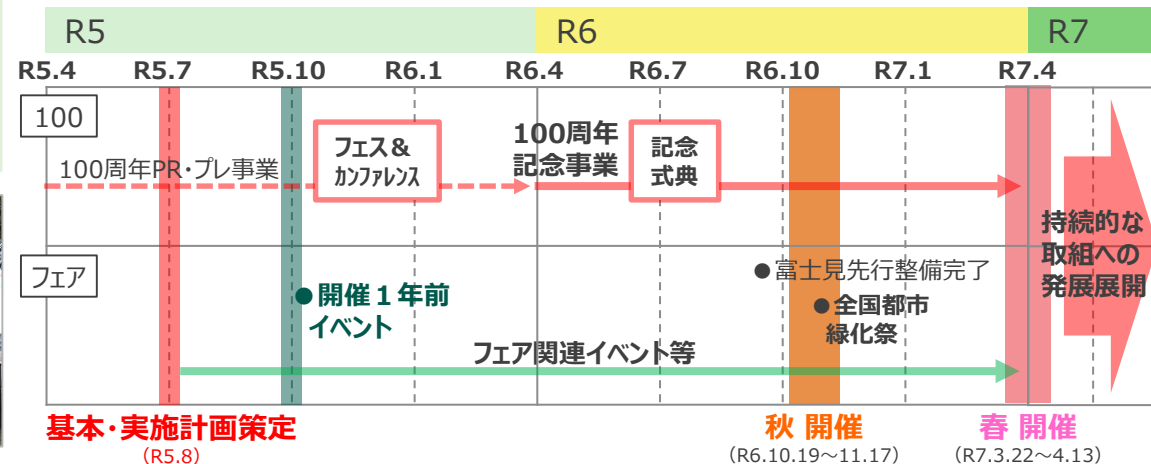
市制100周年記念事業について

- 令和6（2024）年に迎える川崎市制100周年の歴史的な節目に、川崎市ブランドメッセージ「Colors,Future!いろいろって、未来。」を事業コンセプトを具現化する場の設定や活動を記念事業プラットフォーム「Colors,Future!Actions」と総称して、市民一人ひとり・企業・団体等が自由に参加できる活動の場を設けます。
- 15のActionラベルを目印として、市内のさまざまな主体が重なりあい、つながりあいながら「Colors,Future!Actions」を展開します。
- 市制100周年記念事業の象徴的事業として「全国都市緑化かわさきフェア」を令和6（2024）年度に開催します。

市制100周年を機に、
川崎市を「知って関わって
好きになってもらう」取組を推進
⇒シビックプライド
(川崎への愛着と誇り)を醸成



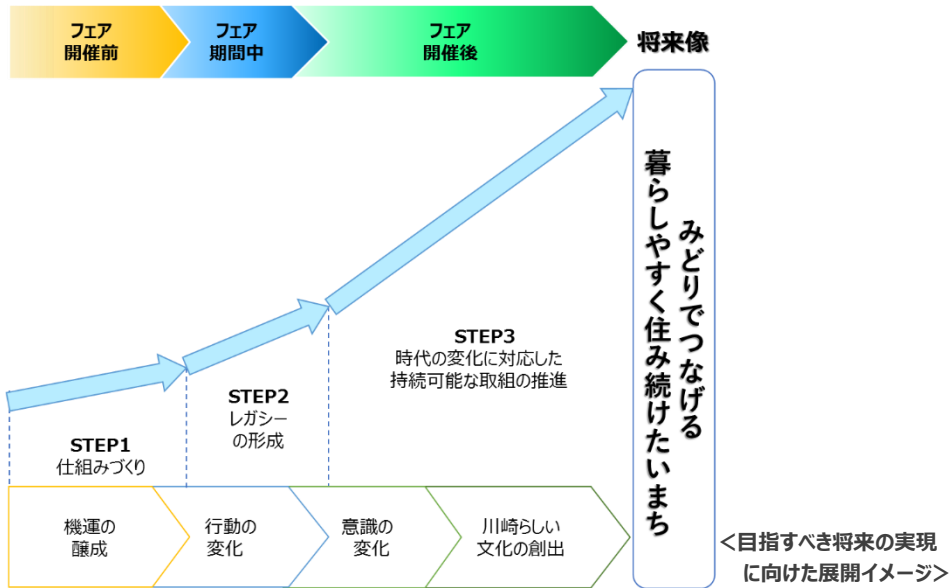
スケジュール



第2章 みどりのまちづくり

取組姿勢・目指すべき将来像等

- 昨今の社会状況の変化等を踏まえ、かわさきフェアを契機として、みどりが持つポテンシャルを最大限に活用して、豊かな暮らしを実現し、住み続けたいと思われられるようなまちをつくるため、目指すべき将来像を設定します。
- その将来像の実現を目指し、かわさきフェア開催以降にもつながる様々な取組を、フェア開催前から展開していきます。



<基本理念>

- I. かわさきフェアは、「みどりが持つ力を、未来の川崎に向けて、**みんなが暮らしの中で上手に活用する取組**」を推進します。
- II. 川崎の**多様な人・暮らし・みどりを結びつけることで、フェア終了後も続く「みどりのムーブメント」**を推進します。
- III. かわさきフェアのレガシーとなる地域愛を持った市民が、**次の100年に向けて、川崎らしくより豊かな環境をつないで**いきます。

みどりの特性や役割

みどりは、
環境を良くする。



バイオフィリックデザイン、レインガーデンなどの**質の向上に資する取組により、環境性能の向上が期待**

みどりは、
新しい風景をつくる。



街全体が彩られる、緑豊かな公園の中で活動するなど、**工夫次第で新しい風景やライフスタイルが生まれる**

みどりは、
人をつなげる媒介になる。



花を育てることや野菜を収穫することなど、みどりを介して**人と人がつながるためのキッカケとなる**ことが期待

これらのみどりの効果を**川崎市全体に波及**させることを目指しながら、**地域の特性に応じた具体的なアクション**を検討します。

ア 名称・愛称

- <名称> 第41回 全国都市緑化かわさきフェア
- <愛称> 「Green For All KAWASAKI 2024」

イ 主催者等

- 主催者 : 川崎市、公益財団法人都市緑化機構
- 実施主体 : 川崎市市制100周年記念事業・全国都市緑化かわさきフェア実行委員会

ウ 開催期間

- 令和6年10月19日(土)～11月17日(日) (30日間)
- 令和7年 3月22日(土)～ 4月13日(日) (23日間)

エ 会場

- コア会場 : 富士見公園、等々力緑地、生田緑地
- 協賛・連携会場等 : 公園緑地、河川、駅前広場、道路空間、庁舎、商業施設・商店街、民有地など

オ 入場方式

- ・ 基本的に入場料は無料。
- ・ 既存の有料施設が会場となる場合、現行の課金体系を基本に検討します。

カ 入場者規模・概算事業費

(検討中)

キ 統一主題 (テーマ)

「みどりで、つなげる。みんなが、つながる。」

ク シンボルマーク

みどりをツールに、人と人、人と暮らしが緩やかにつながっていく様子を、区の数である7枚の葉を重ね、市民の活動(アクション)がさらに広がっていくイメージを、多彩な色でロゴ全体を花に見立てて表現しています。



2. 行催事等計画（1）協働推進

● 協働推進の基本的な考え方

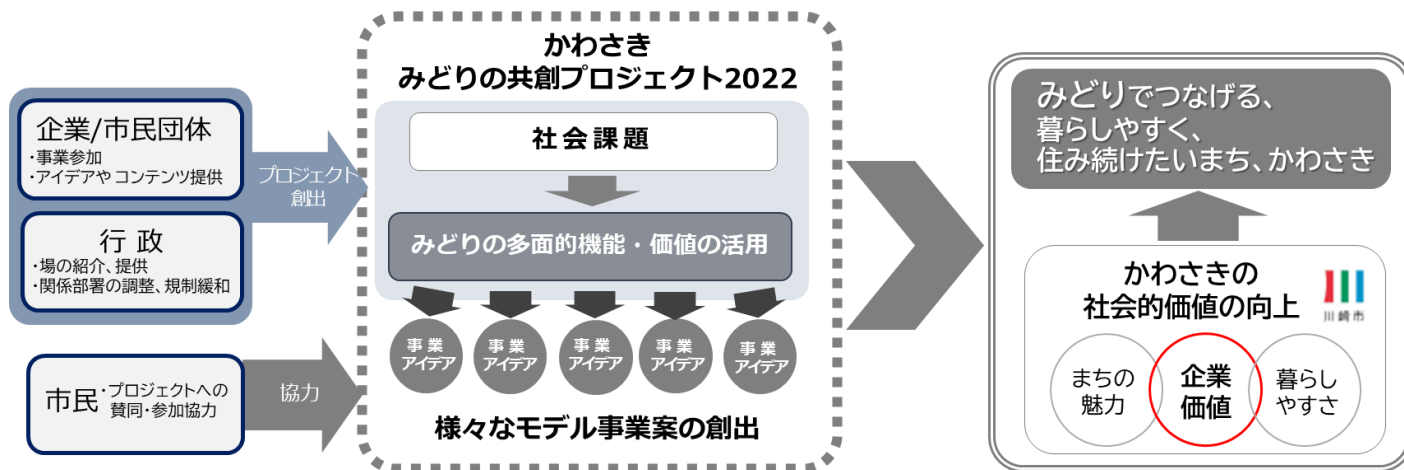
- これまでの市民協働の取組を大切にしながら、地域の団体と、未来のまちづくりを担う子どもたちや若者が出会い、新たなつながりを生み出します。
- 企業、地域の団体等を巻き込み、フェア開催以降も継続できる新たな協働、共創による仕組みの構築につなげていきます。
- 市民154万人（延べ人数）に知って、関わってもらうことを目指します。

<関わり方の例>

- 花壇づくり等の**ボランティア**
身近な公園の花壇の植栽（**まちの彩り・賑わいづくり**）
- コア会場への来場**、各種**体験イベントへの参加**
- 自宅のみどりを**SNSに投稿** 等

<みどりの共創プロジェクト>

かわさきフェアの開催を機に、みどりの力を活かし、市民、企業、大学、行政等の多様な主体との共創により、「みどりでつなげる、暮らしやすく、住み続けたいまち」の実現を目指す。共創の取組第1弾として令和4年度から実施。



● ボランティアによる参加

○ ボランティア参加の実施方針

これまで本市が培ってきた様々な既存ボランティアと連携を図りながら、フェア開催前から既存の活動を通じて募集します。

○ ボランティアの主な業務内容

植物管理、会場運営サービス、会場サービス、エリア巡回サポートなど

○ 募集計画

植物管理のボランティア募集については、開催1年前にあたる令和5年10月から実施予定

2. 行催事等計画（1）協働推進

● 実施例

協働の花苗育成 『協働の花づくり・花かざり』 の取組



途中経過

次の市立学校にて各校へ訪問し、具体的な方法について調整実施。

※最も早い学校では6月から授業・委員会活動等にて実施予定。

- ・市内小学校（3校） 宮前／下作延／柿生（開校150周年記念にて使用予定）
- ・市内中学校（6校） 富士見／塚越／東高津／菅／枳形／長沢
- ・特別支援学校（1校） ※秋の実施を目指し、調整中



R6年の連携体制想定

①花苗栽培	子ども：保育園・小中学校・特別支援学校など 団体：福祉団体・町内会・商店街など 企業：事業所緑化推進協議会・フェア実行委員会など
②種子・苗の供給	種苗会社（実行委員会加盟企業）
③栽培時のサポート	地元の花壇団体 （緑の活動団体／人材バンク／公園愛護会・協議会など） 有識者（園芸家・深町氏／大学講師・栗原氏） 公園緑地協会・家庭園芸普及協会 農業技術支援センター 緑化センター
④花苗の輸送	道路公園センター・造園組合

2. 行催事等計画（2）観客誘致・広報宣伝

● 基本的な考え方

- 広報宣伝活動及び行催事については市制100周年記念事業と連携し、みどりの取組に関わっている市民はもちろん、幅広い市民と市外からの来場促進等を図ります。
- エリアではコンセプトや川崎市の可能性を感じて貰うことで、シビックプライドを醸成するとともに、関係人口を増やしていきます。
- 魅力的な取組を広報することで多くの人の巻き込みを狙い、特に開期中は、まち全体でおもてなし感を醸成します。

● 実施内容

次の項目ごとに、広告物の掲示やイベントブースの出展等、各種取組を実施していきます。

㊦ 広報ツールの作成・活用

- 100周年+緑化フェアポスター
- のぼり旗



㊧ WEB・SNS活用

● 公式ホームページ

情報発信のメインサイトとして、令和5年5月1日に公開しました。開催情報だけでなく川崎市の魅力ある取組についても情報発信していきます。



R5.5.1～公開

● SNS

R5.6.1～公開予定

各種SNSからホームページへ繋げ、より多くの人へかわさきフェアの開催や毎日の生活にみどりがある暮らし等の情報を発信します。



Instagram

自分ごと化/気づき提供



Twitter

再拡散/フォロワー数獲得



Facebook

深度の高いファンを醸成

㊨ キャンペーン活動

- しおりつきフラワーカード
- エコポット



タネがついたフラワーカードで、土に挿すだけで栽培ができます。

● エコポット



古紙を再生したポットは、そのまま植え替えば、土に還ります。

㊩ その他

川崎市のプレスリリースやPRワイヤーを活用しながら、様々なメディアを活用して情報を発信します。

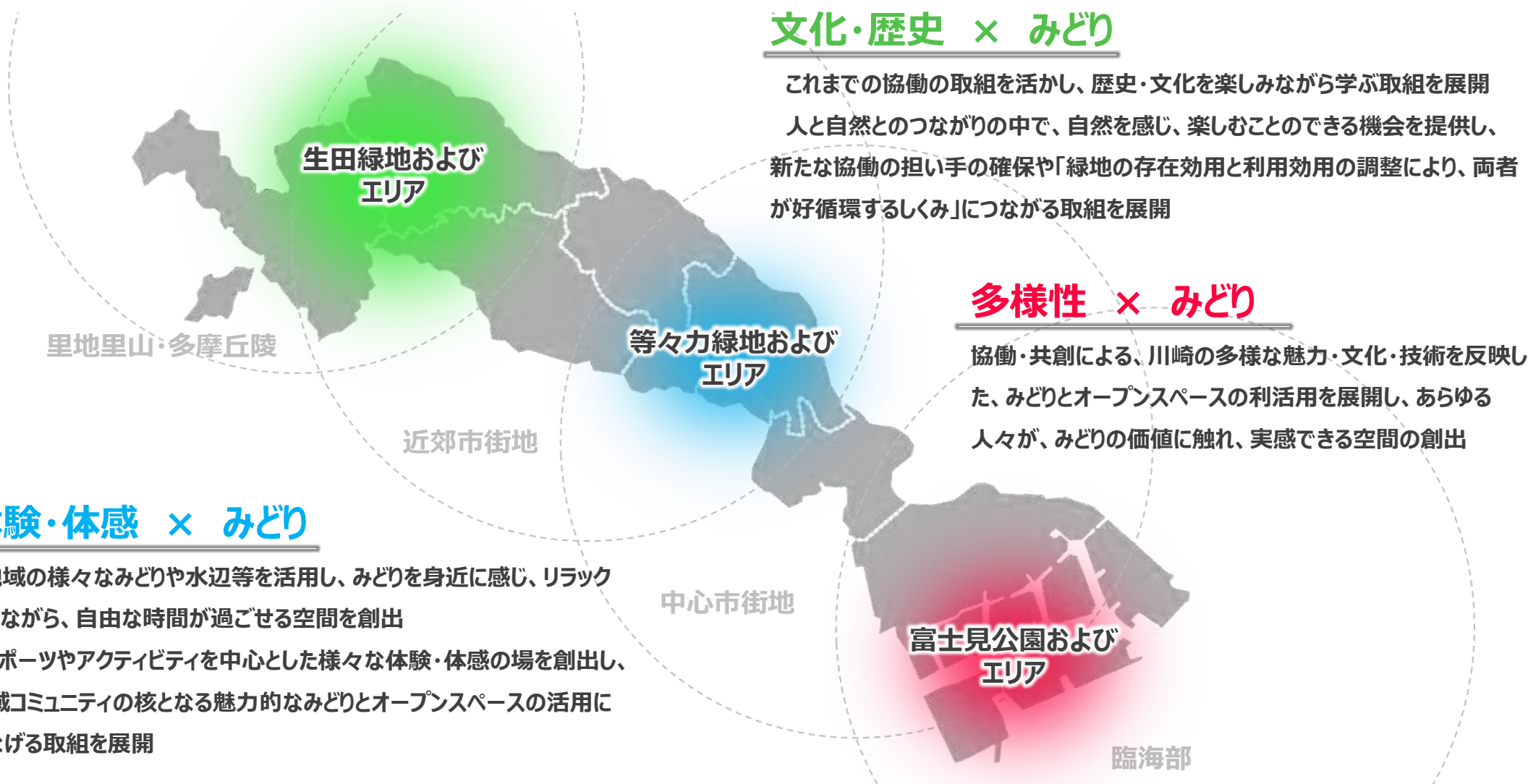
2. 行催事等計画 (3) 会場

●3つのコア会場およびエリアのコンセプト

南部・中部・北部に位置し、それぞれの地域性や特色のある3つの総合公園をコア会場とし、**市内外からの集客を見込む範囲をエリア**と設定。また、市内全域の様々なみどりとオープンスペースを協賛・連携会場とします。

<会場計画に必要な視点として5つのキーワードを整理>

持続可能	…未来につながる取組
すべての人	…市民総参加型のフェア
みどりでつなげる	…人とみどり、人と人のつながりを感じる
多彩なみどり	…街なかの緑地、多摩川、樹林地等を感じる
多様な効果	…様々なみどりの効果を感じる



2. 行催事等計画 (3) 会場

- 2期開催を活かした取組の展開

これまでの100年 から これからの100年へ

フェア前

種まき

秋開催

芽が出る

中断期

育てる

春開催

花が咲く

フェア後

暮らしに根付く

機運醸成

市民参加花壇

プレ栽培

秋播きー春咲き
春播きー秋咲き

ボランティア募集

秋

きっかけを活かし、
参加・体験

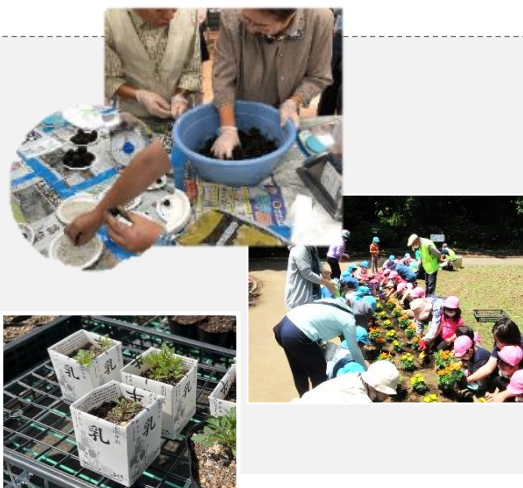
秋からの継続
春に向けて育む

春

レガシー

みどりを知ってもらい、
みどりに関わってもらおう『きっかけ』づくり

秋に手掛けた取組の成果を共有し、
実感することでフェア後の行動に繋げる



自治体出展花壇 (事業者制作)



市民協働花壇 (市民制作)



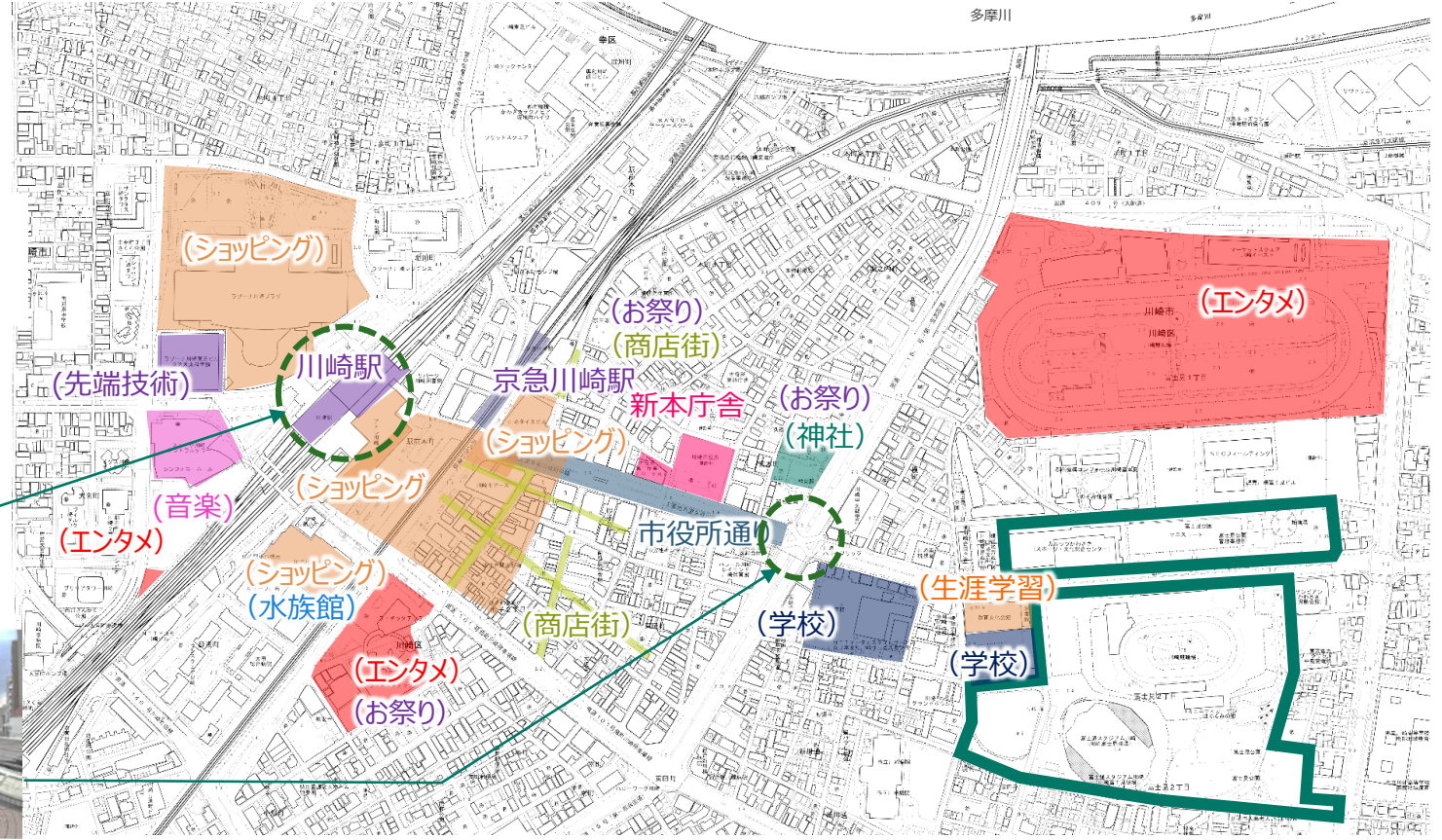
2. 行催事等計画 (3) 会場

【富士見公園エリア】

●エリアの展開イメージ

- **エリア全体で多様性を表現**
- **まちを回遊することで、川崎の多様性を楽しむ**
- **富士見公園に自然と足が向くみどりの装飾**

＜ 駅から会場までのアプローチを活用＞

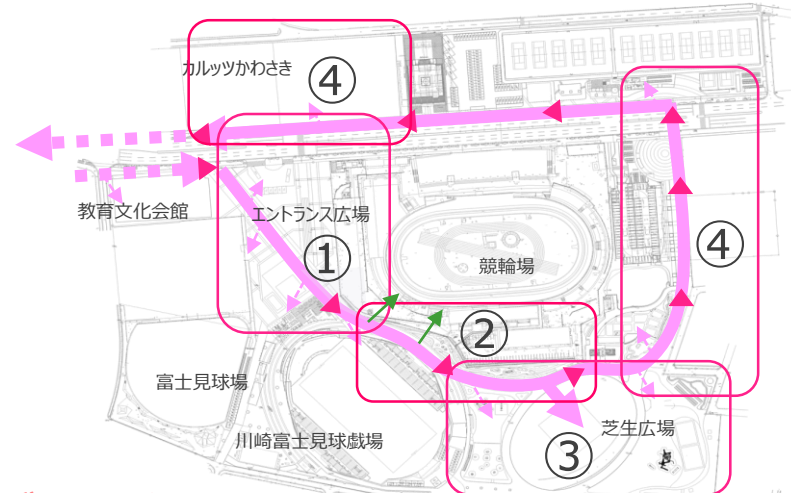


●富士見公園のストーリー

『まちなかのみどりから、暮らしの中の身近なみどりにフォーカスしていく』

川崎駅から会場まで、花と緑に彩られたいつもと違うまちの風景に、ワクワク感を持って会場へ到着

- ① 市民協働による圧倒的な**大花壇**に包まれる
- ② 良好な都市環境の形成に寄与する**みどりの多面的な価値**を知る Ex) グリーンインフラ
- ③ 心地よさを感じる公園での**自由な過ごし方を体験**する Ex) 芝生広場の活用
- ④ 市民の**ライフスタイル**に、身近なみどりを取り入れるノウハウを習得 Ex) 室内ワークショップ・ベランダガーデニング

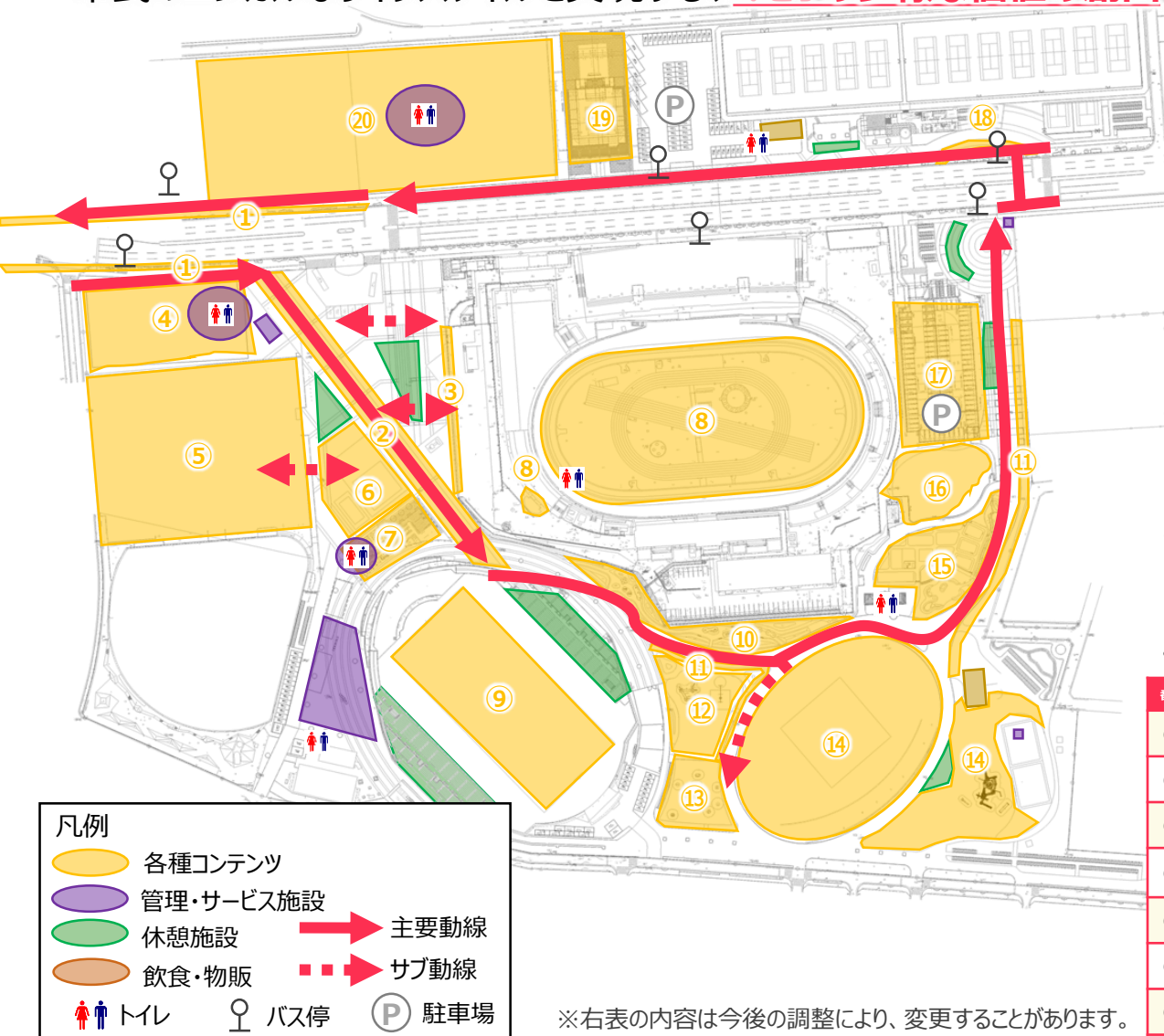


みどりをきっかけに、人と人が出会い、コミュニティのつながりが、まち全体へと広がっていく

2. 行催事等計画 (3) 会場

● 富士見公園の施設配置案

- ・コンセプト「**多様性**」×みどり
- ・**都会の中の多様なみどり**の粋を集める
- ・市民のエシカルなライフスタイルを実現する、**みどりの多様な価値の創出**



※右表の内容は今後の調整により、変更することがあります。

テーマガーデン

Colors, Future ガーデン

～みどりで、つなげる。みんなが、つながる。ガーデン～



- ・花苗の育成・装飾づくりから、植え付け・組み立て、管理やガイドまで**あらゆる段階で市民を巻き込んで制作**
- ・装飾やモニュメント等によって「**川崎の多様性**」と、**未来につながる「これまでの川崎」の歩みを表現して発信**
- ・想定規模は1,000㎡程度 ※延長100m×幅5m×両側

番号	タイトル	番号	タイトル	番号	タイトル
①	自治体出展花壇	⑧	他会場と連携した体験	⑭	芝生で遊びまろう！
②	Colors, Future ガーデン	⑨	インクルーシブ公式戦	⑮	農業体験&活動募集
③	ハンギングバスケットコンテスト	⑩	グリーンインフラ展示	⑯	泥の感覚遊び！
④	パノイリクテ"ザイン"のイベント	⑪	企業等庭園コンテスト	⑰	車を使ったみどりの展示
⑤	身近な疑問の種実験	⑫	インクルーシブなみどりの体験	⑱	ハンバス作りワークショップ
⑥	ポッチャ体験	⑬	福祉分野との剪定講習会	⑲	劇場型イベント
⑦	みどりの歴史展	⑲	ポタニカルライトなど展示	⑳	国際環境技術展などの展示

2. 行催事等計画 (3) 会場

【等々力緑地エリア】

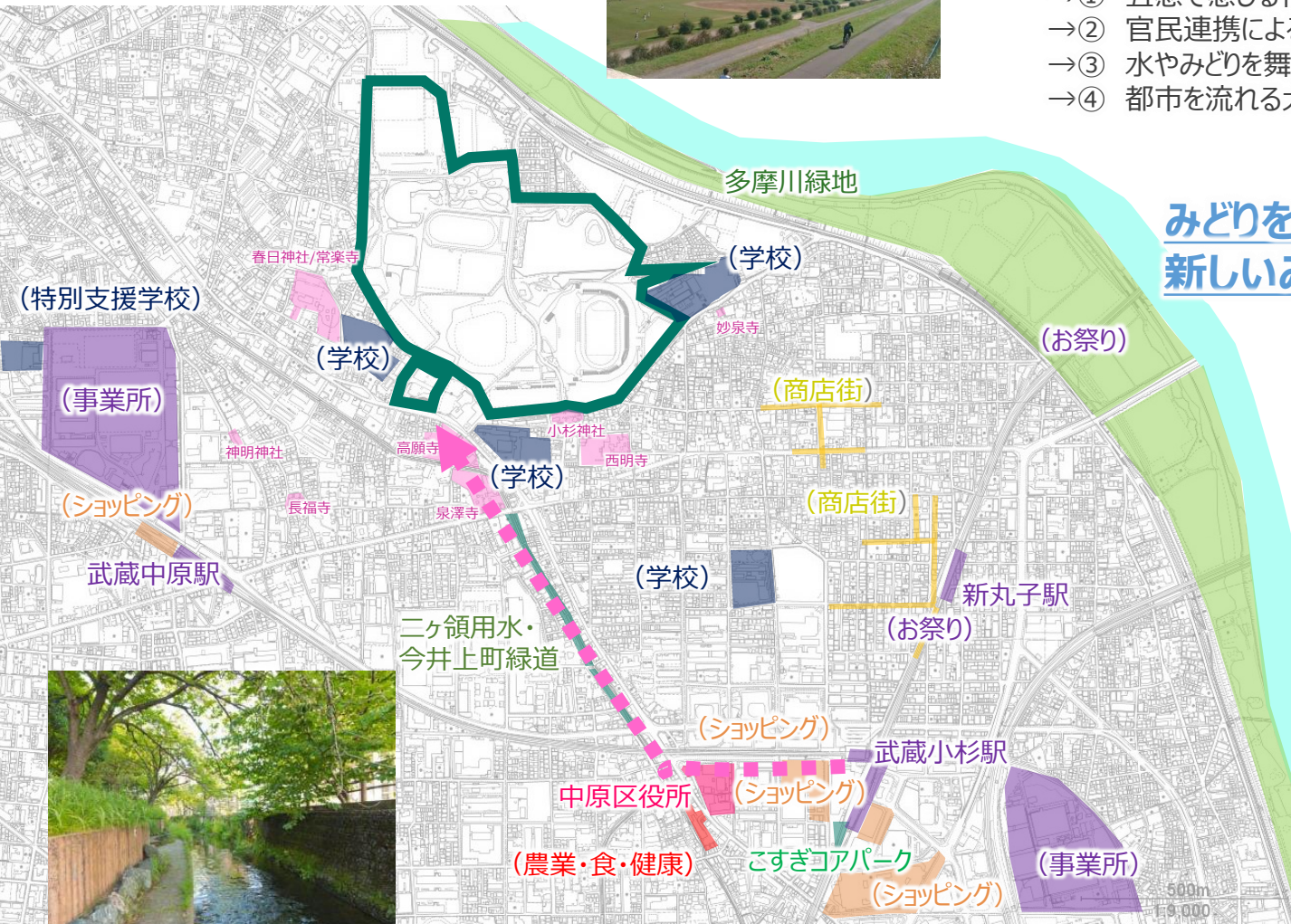
●エリアの展開イメージ

➤ 都市の暮らしと共にある、
水やみどりとの関わりに気づき、実感する

＜小杉駅前空間の活用＞

＜駅から会場までのアプローチ空間を活用＞

＜多摩川を活用＞



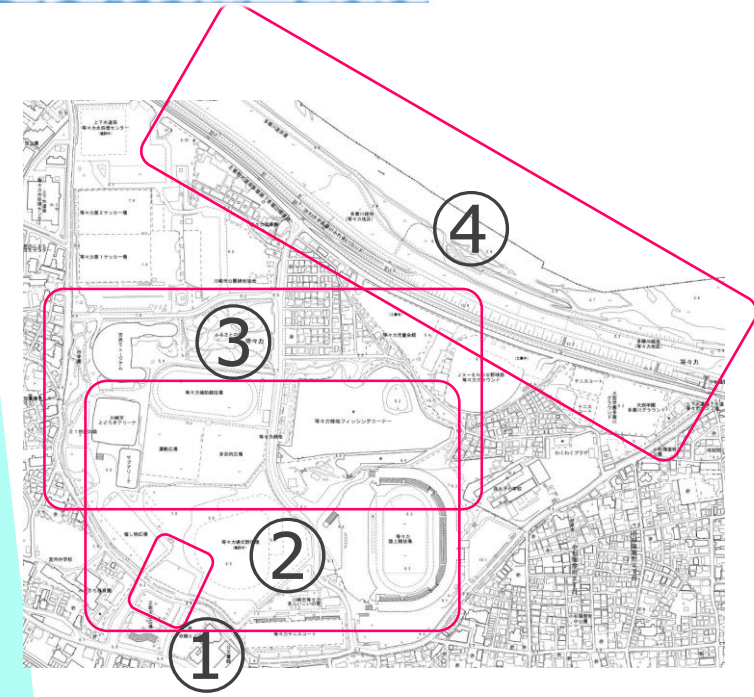
●等々力緑地のストーリー

『五感で水とみどりを感じ、自らみどりの価値に気づき、
都市の暮らしの楽しさを実感する』

都市の賑わいを感じながら、まちなかを散策し、
ニヶ領用水の水とみどりを感じながら会場へ到着

- ① 五感で感じる花やみどりを**体験・体感する**
- ② 官民連携による実験的な取組を通じて、**新たなみどりの価値に気づく**
- ③ 水やみどりを舞台に、様々なアクティビティを体験し、**楽しさを実感する**
- ④ 都市を流れる大河川の豊かさを体感し、**新しいライフスタイルを創造する**

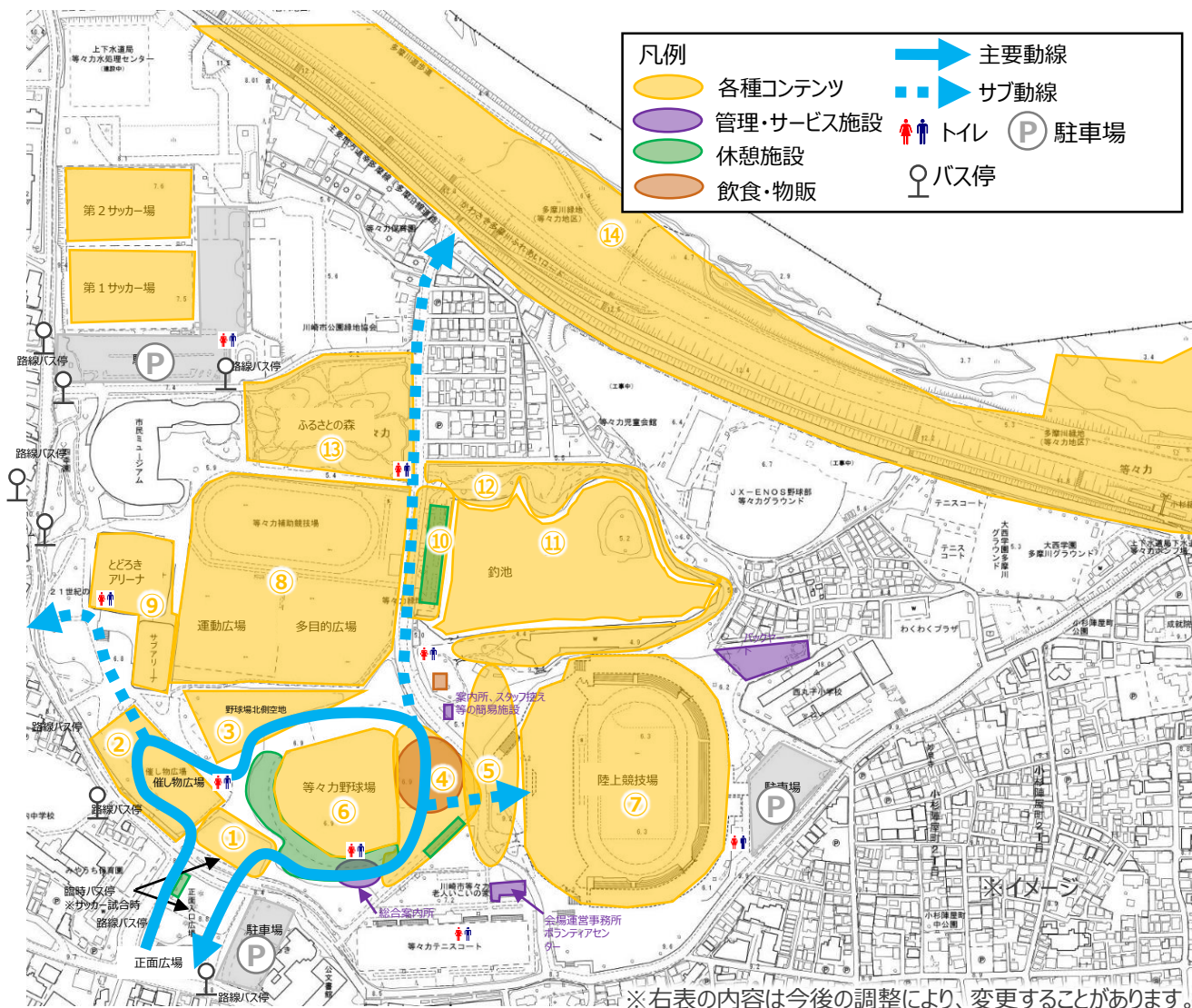
みどりをもっとアクティブに活用する、
新しいみどりとの関係性を発見



2. 行催事等計画 (3) 会場

● 等々力緑地の施設配置案

- ・コンセプト「**体験・体感**」×**みどり**
- ・**五感で感じる**みどりのアクティビティを展開
- ・みどりをもっとアクティブに使いたおす、**みどりの新しい価値の創出**



テーマガーデン

アクティブガーデン Active Gardens

～「見る緑」から「五感を刺激するみどり」へ。
多彩なアイデアが織りなす体験・体感型インスタレーション～



- ・「**五感を刺激する体験・体感**」をテーマにした制作
- ・**企業との協働・共創**により花壇を制作
- ・各企業のアイデアをまとめてアクティブガーデンとして演出
- ・想定規模は500～1,000㎡ ※参加企業数により変動

番号	タイトル	番号	タイトル
①	アクティブガーデン	⑧	親子参加型イベント
②	共創の取組の実験場	⑨	スポーツイベント
③	壁面緑化・アート	⑩	アウトドアオフィス
④	マルシェ	⑪	花いかだ
⑤	クリーンアップイベント	⑫	水辺の散策・ネイチャーゲーム
⑥	芝生の活用	⑬	自然体験学習
⑦	スポーツ体験	⑭	多摩川の散策

2. 行催事等計画 (3) 会場

【生田緑地エリア】

● エリアの展開イメージ

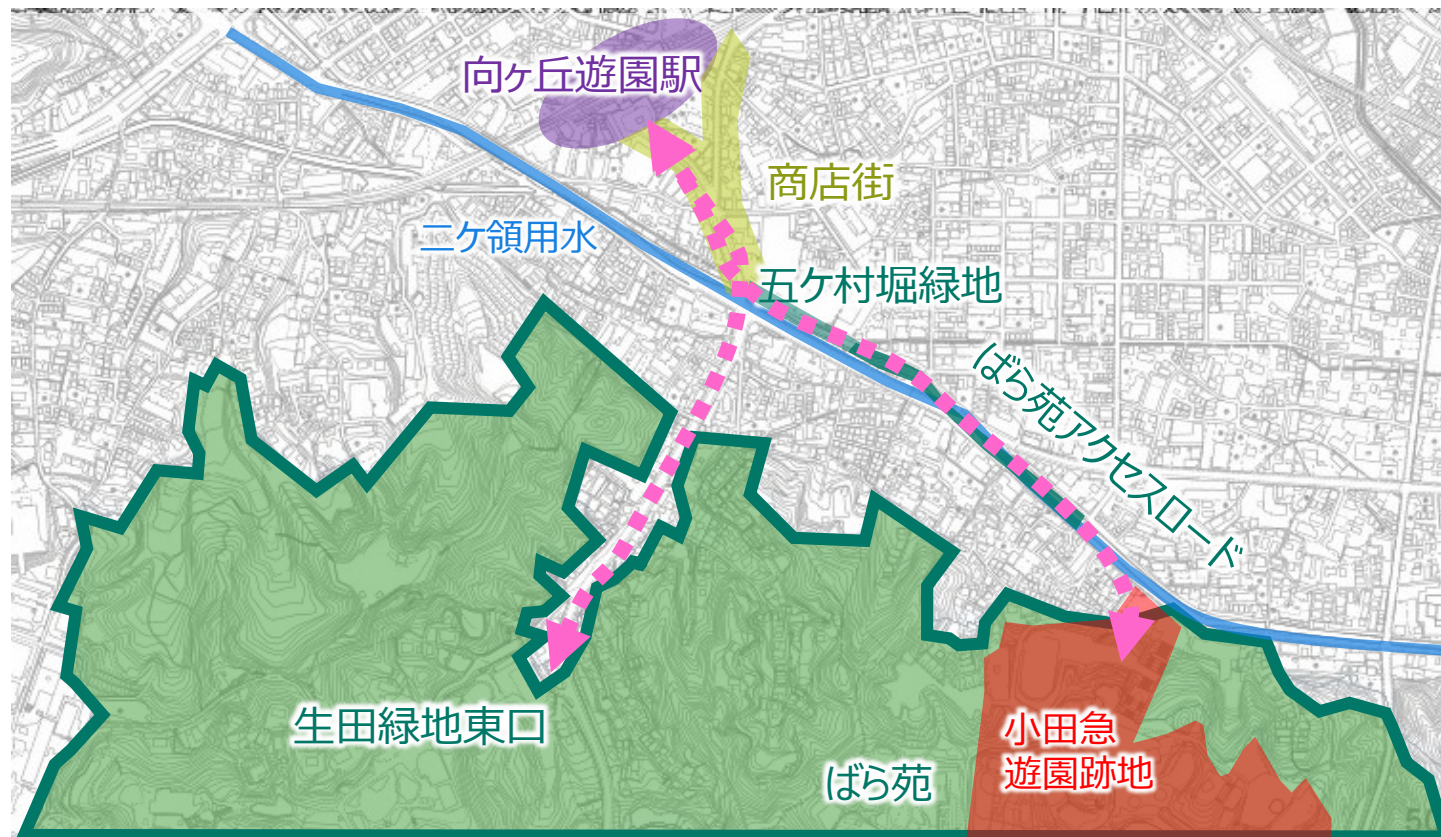
- まちなかに突然に現れる
大自然と秘密の花園、
みどりの世界に吸い込まれていく

<駅前及び会場までのアクセス路を楽しむ>

<誰もが楽しめる散策機会の提供>



ばら苑へ楽しく歩ける市民参加の道

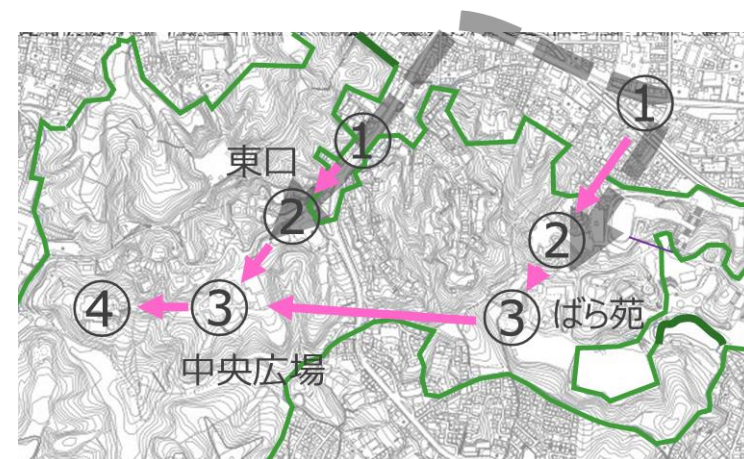


● 生田緑地のストーリー

『圧倒的な大自然から、文化・歴史を学び、みどりに触れてみたくなる』

花のもてなしにより、地域の人々の想いを感じながら会場へ到着

- ① 市民によって育てられたまちなかの花・みどりを眺めながら歩みを進める
- ② 生田緑地の大きな緑、秘密の花園が現れる
- ③ 人と自然の関わりによって育まれたみどりの文化・歴史を学ぶ
- ④ 自然を感じ、楽しむ体験を通じて、自然の中で活動する楽しさや喜びを実感する

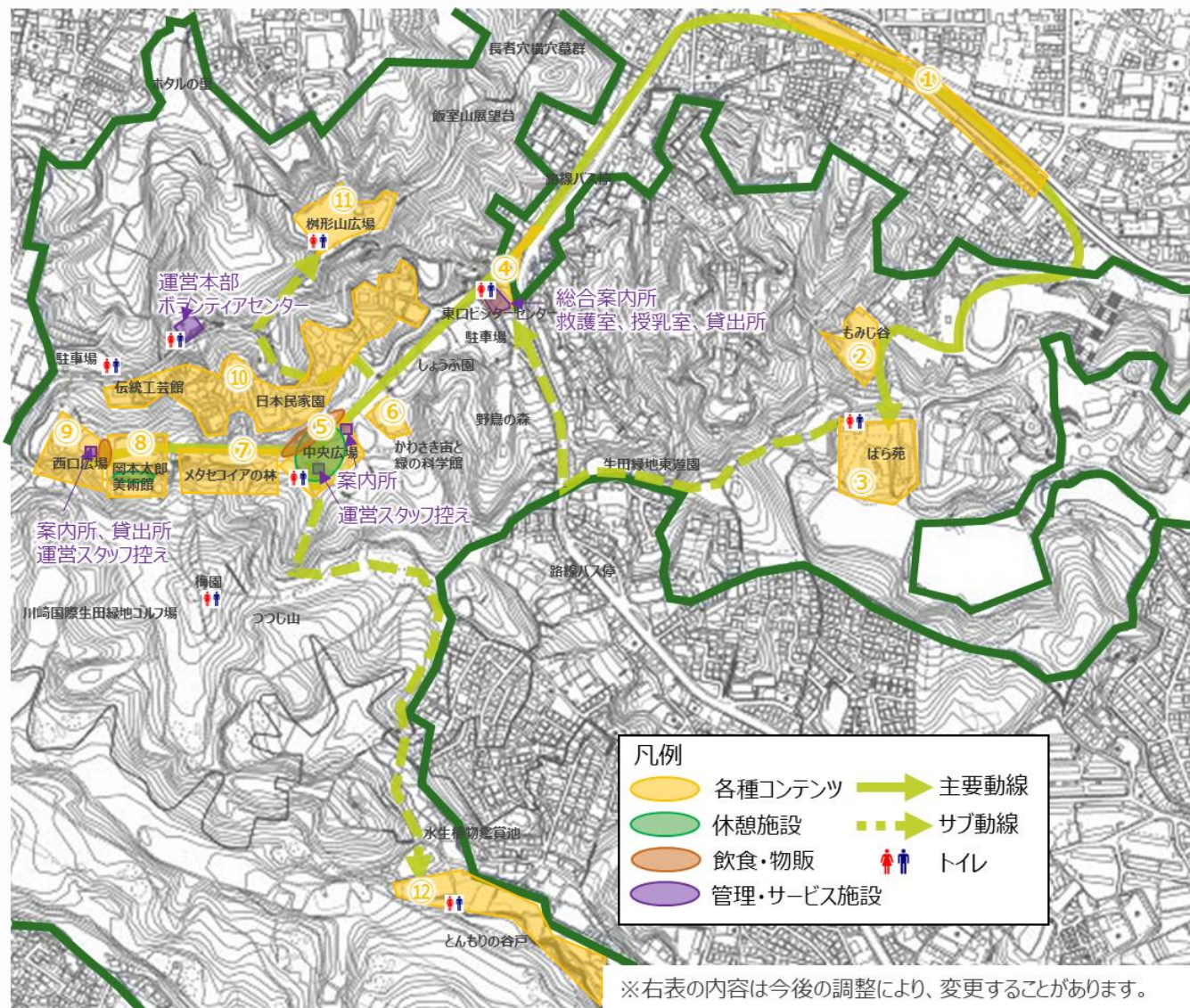


人と自然がつながることの大切さを学び、みどりに関わりたいという意識の芽生え

2. 行催事等計画 (3) 会場

● 生田緑地の施設配置案

- ・コンセプト「**文化・歴史**」×みどり
- ・市内随一の**緑の宝庫**で、**みどりの文化と歴史**を学ぶ
- ・人と自然がつながることの大切さを実感し、**保全されたみどりの価値**を再認識



協働のプラットフォームによる魅力発信基地



- ・広い生田緑地内の各所で行われている出展展示を**協働のプラットフォームが自ら魅力を発信**
- ・出展展示をまわるとともに、豊かな自然を感じながら、会場内を散策してもらう
- ・基地を拠点にネイチャーゲームや、植物観察・生き物観察ツアーなどの企画を開催

番号	タイトル	番号	タイトル
①	ぼら苑までおもてなし	⑦	生田緑地撮影会
②	アーバンネイチャー体験	⑧	美術館でフラワーレッスン
③	ぼら苑観察会	⑨	生田緑地アートピクニック
④	花のお出迎え	⑩	秋の草バッタ教室
⑤	協働のプラットフォームによる魅力発信基地	⑪	木工体験教室
⑥	サイエンスワークショップ	⑫	どろんこ教室

2. 行催事等計画 (3) 会場

【協賛・連携会場】 ● 展開イメージ

市内の様々なみどりとオープンスペースを活用して日常の活動を発信し、市内全域でフェアを盛り上げる一体感を醸成します。
市民、企業、地域団体等の多様な主体と協働・連携した取組にスポットをあて、各地域の特色を活かし市内全域で展開します。
(例) 公園緑地、河川、駅前広場、道路空間、庁舎、商業施設・商店街、民有地など

多摩区

<主な特色>

- ・生田緑地を拠点とした豊かな自然と歴史・文化・芸術の魅力を活かしたまちづくり
- ・里地里山の保全や豊かな自然資源を活用した交流、賑わいの創出

<主な協賛・連携会場イメージ>

緑化センター、稲田公園、多摩川緑地、登戸・向ヶ丘遊園駅周辺 ほか

中原区

<主な特色>

- ・小杉駅周辺の公共空間を活用した居心地がよく住みやすいまちづくり
- ・等々力緑地におけるパークマネジメントの推進によるまちの賑わいの創出

<主な協賛・連携会場イメージ>

中原平和公園、中丸子緑道、多摩川緑地、小杉駅周辺、こすぎコアパーク、特色ある商店街（プレーメン通り） ほか

川崎区

<主な特色>

- ・富士見公園を拠点としたまちの賑わい創出に寄与するまちづくり
- ・臨海部の魅力的なロケーションを活用した交流と賑わいの創出

<主な協賛・連携会場イメージ>

大師公園、稲毛公園、市役所通り、川崎市役所新本庁舎、川崎駅周辺、臨海部（キングスカイフロントなど） ほか

麻生区

<主な特色>

- ・保全緑地における保全と利活用の取組による子どもたちがのびのびと自然にふれあい成長できる空間づくり
- ・農ある風景の保全と農家・市民と連携した地域農業の振興による魅力的なまちづくり

<主な協賛・連携会場イメージ>

王禅寺ふるさと公園、新百合ヶ丘駅周辺、王禅寺四ツ田緑地、黒川・早野・岡上などの里地里山・農地 ほか

宮前区

<主な特色>

- ・生田緑地を拠点とした豊かな自然と歴史・文化・芸術の魅力を活かしたまちづくり
- ・歴史的遺産や農といった地域資源を活用し、緑、水と一体となった魅力的なまちづくり

<主な協賛・連携会場イメージ>

菅生緑地、東高根森林公園、平瀬川、宮前平・鷺沼駅周辺 ほか

高津区

<主な特色>

- ・多摩川や二ヶ領用水、橘樹官衙遺跡群など、緑、水辺と一体となった魅力的なまちづくり
- ・地域資源を活用した持続可能な地域社会（エコシティたかつ）の形成

<主な協賛・連携会場イメージ>

橘公園、多摩川緑地、二ヶ領用水、橘樹官衙遺跡群、溝の口駅周辺 ほか

幸区

<主な特色>

- ・夢見ヶ崎公園を活用した賑わいの創出、地域コミュニティ形成

- ・御幸公園における地域の魅力創出

<主な協賛・連携会場イメージ>

夢見ヶ崎公園、御幸公園、さいわい緑道、多摩川緑地、新川崎・鹿島田駅周辺、川崎駅西口 ほか



例：多様な主体による利活用が行われている公園
(橘公園・王禅寺ふるさと公園)



例：市民活動が行われている緑地
(菅生緑地)



例：特色のある公園
(夢見ヶ崎公園)

2. 行催事等計画 (4) 出展展示

● 出展展示の基本的な考え方・展開イメージ

- 出展については、秋開催期間に予定する全国都市緑化祭等に合わせ、コンテスト等を実施する計画としていることから、出展期間は秋開催時期を中心に設定します。
- 展示については、各会場のコンセプトに合わせ、フェア開催前や中断期の協働の取組と一体的な取組を行います。なお、秋と春の2期間ともに展開する展示の規模や場所については秋と春で共通とし、季節に応じた展示を行います。

○ 企業・団体、学校等 出展庭園コンテスト

- ・ テーマは、みどりを都市の暮らしの中に取り入れるライフスタイルを提案できるものを設定します。

○ ハングングバスケット出展

- ・ 一般市民（市外・県外在住者含む）から参加を募り、作品に対してコンテストを実施します。

○ 川崎の「みどりの歴史」の振り返り

- ・ 川崎市のみどりの歴史やこれからの緑について、川崎市が目指す環境先進都市のあるべき姿を市民とともに考えるきっかけとなる展示とします。

○ 壁面緑化の美しさと技術を発信

- ・ 様々な素材を活用した壁面緑化の手法や技術を使って、技術の進歩を実感してもらう展示とします。



写真：2020ひろしまフェア出展事例
（「生物多様性配慮」+「心地よさの創出」+「環境負荷の軽減」をテーマ）



写真：2022北海道フェア出展事例
（ハンギングバスケット出展作品）



写真：展示イメージ



写真：2023仙台フェア事例
（案内所の壁面緑化）

4. 行催事等計画 (5) 植物調達・管理

(5) 植物調達・管理

ア かわさきフェアで使用する花・植物の考え方

1. 『かわさきの花・植物』の活用

① 区の花・区の木を活用

・各区と連携しながら、100周年の1年を通じて様々なイベント等にて区の花・区の木を活用する。

② 地域の花・植物の活用

・植物の調達は、『**市内産→県内産→県外産**』の順で実施する。

・地域の花・植物の調達を推進するため、**JA・造園組合を中心に植物調達体制を構築**する。

・**市民協働による花苗育成を展開**し、会場の花壇等に活用する。

③ 既存の花・植物の活用

・既に植栽されている草花や樹木等の魅力を活かし、引き立たせるような活用を行う。

2. 『市民生活に取り入れやすい花・植物』の活用

① 初心者にも育てやすい花・植物の選定

・フェアをきっかけに**育ててみたくなる**、初心者にも育てやすい花・植物を活用する。

② 様々な環境・ニーズに合わせた花・植物の選定

・屋内、ベランダ、オフィスなど、様々な環境や、市民のニーズに合った花・植物を活用する。

③ 持続可能な景観づくりに向けた花・植物の選定

・100年後も残るかわさきの景観づくりに向け、毎年、花を着け、生き続ける多年草や樹木類を活用する。



1-② | 市内産花卉の活用

Ex) パンジー・ビオラ/ガーデンシクラメン



1-③ | 既存植物の活用

Ex) 富士見のソメイヨシノ/ニヶ領用水のハナモモ/等々力のサトザクラ/ハマダイコン/生田のバラ・スミレ類



2-① | たねダンゴによる育成

Ex) マリーゴールド/ジニア/ピンカ

・牛乳パックによるポット

Ex) キンギョソウ/ヤグルマギク/リナリア



2-② | バイオフィリックデザイン

Ex) 室内観葉植物

・キッチンガーデン・エディブルフラワー

Ex) ハーブ類/薬物野菜・根菜類

・アーティフィシャルフラワー ・切り花・切り枝



2-③ | ナチュラリストックガーデン

Ex) グラス類/ハーブ類/球根植物

・グランドカバープランツ・カラーリーフ

Ex) ヒューケラ/シバザクラ/ユーフォルビア

2. 行催事等計画 (6) 行催事

● 基本的な考え方

- 市制100周年記念事業と連携し、これまで培ってきた川崎の魅力や強みを発信する取組を行います。
- 新たなみどりの見せ方や使い方、みどりを活かしたライフスタイル提案などを取り入れ、「川崎らしさ」を「市民総参加」でつくりあげ、発信します。
- 既存の催事や地域の取組と協働・連携した市民発信型のイベント等をかわさきフェア開催前から展開します。

● 実施内容

フェア開催1年前イベント



- ・日程：令和5年11月予定
- ・プログラム：アトラクション、トークセッション、展示 等
- ・参加者：地元関係者、イベント関係者 等
- ・会場：川崎市役所新本庁舎アトリウム 等



川崎市役所
新本庁舎
アトリウム

オープニングセレモニー

公式

- ・日程：令和6年10月19日(土)
- ・プログラム：アトラクション、主催者挨拶、テープカット
- ・参加者：地元関係者、イベント関係者、川崎市市長 等
- ・会場：富士見公園、等々力緑地、生田緑地



テープカット
セレモニーの様子
(R3北海道フェア)

総合開会式

公式

- ・日程：令和6年10月19日(土)
- ・プログラム：オープニングアトラクション、開会宣言 等
- ・参加者：実行委員会委員、庭園出展者、協力団体 等
- ・会場：カルッツかわさき



開会式の様子
(R3北海道フェア)

総合閉会式

公式

- ・日程：令和7年4月13日(日)
- ・プログラム：オープニングアトラクション、庭園出展コンテスト表彰式、フェア旗引継ぎ式、次期開催地挨拶、閉会宣言 等
- ・参加者：実行委員会委員、協力団体 等
- ・会場：カルッツかわさき



閉会式
アトラクションの様子
(R2熊本フェア)

秋クローズセレモニー

公式

- ・日程：令和6年11月17日(日)
- ・会場：富士見公園、等々力緑地、生田緑地

春オープニングセレモニー

- ・日程：令和7年3月22日(日)
- ・会場：富士見公園、等々力緑地、生田緑地

庭園・ハンギングバスケットコンテスト

全国都市緑化祭

- ・日程：フェア開催中の1日

等

協働・連携イベントなど

その他

- ・市民、団体、企業、行政等と実行委員会が連携し、フェアを盛り上げる既存又は新規イベント
- ・市民、団体、企業、行政等が主催する各種イベントやシンポジウム・フォーラム 等



(例) 花と緑の市民フェア 等



(例) わがまち花と緑のコンクール

2. 行催事等計画 (7) 協賛金

ア 基本的な考え方

市制100周年記念事業・全国都市緑化かわさきフェア実行委員会が主催する記念事業の趣旨及びプロジェクトやイベントごとに設定する協賛特典に対して、賛同いただいた企業、団体等から協賛をいただき、記念事業に取り組んでいきます。

イ 協賛の全体イメージ

区分		協賛メリット	
資金 協賛	オフィシャル	プラチナ～ブロンズ パートナー	企業価値の向上 ①ブランディング視点 ・企業名やロゴ露出による企業認知率の向上 ・100周年活動への協力していることによる、企業ブランドイメージの向上 ・川崎市の価値向上やみどりの活動への貢献による、社会貢献イメージの向上 ②ビジネスへの貢献 ・自社の商品やサービスの提供や露出による、販売促進効果の向上 ③インナーブランディング/チームビルディング ・社会貢献している企業に所属することによる、従業員の士気向上や人材確保への好影響、イベントに参加することによる従業員のコミュニケーションの活性化
		ゴールドサプライヤー	
		サプライヤー	
		ゴールド メディアパートナー	
		メディアパートナー	
物品 協賛	オフィシャル	ゴールド メディアパートナー	
		メディアパートナー	
広告 協賛	オフィシャル	ゴールド メディアパートナー	
		メディアパートナー	
		ゴールド メディアパートナー	
		メディアパートナー	
協力 ・ 支援	オフィシャル	サポーター	返礼等の対価有無 ①緑化フェア/フェス&カンファレンス会場が充実すること ②応援により川崎が新たな1歩を踏み出している満足感 ③地元への貢献や応援を通じた社会貢献 ①自身が興味を持って寄付したプロジェクトの完成 ②魅力的なリターン ①興味のあるイベントに参加した経験と楽しい思い出 ②記念事業や緑化フェアのチカラになれている満足感 記念事業へのお祝い、まちの緑化のチカラになれた満足感
		クラウドファンディング	
		イベント売上の 一部を募金	
		イベントでの募金・寄付	
		イベントでの募金・寄付	

ウ 想定される協賛特典メニュー表 (案)

●名称使用权	「オフィシャル〇〇パートナー」名称使用权
●広報・製作物	広報・宣伝への企業・団体名掲載 協賛企業ボードへの企業・団体名掲載 会場内エリアへの企業・団体名表示 ガイドブックへの企業・団体名掲載 HPへの企業・団体名掲出・リンクの設定 HP記事・ニュースレター・SNS等への企業・団体名掲載 公式記録誌への企業・団体名・氏名掲載 記念誌の贈呈 実行委員会ユニフォームへの企業・団体ロゴ掲載
●記念式典（緑化フェア公式行事除く）	会場内広報 プログラム・ガイドブックへの企業・団体名掲載
●その他	市民総参加プロジェクトへの参加

※詳細は、今後、市制100周年記念事業と調整の上、決定

※そのほか、イベント売上の一部募金やイベントでの募金・寄付を実施

2. 行催事等計画 (8) 飲食・物販

●基本的な考え方

- 生産者や飲食店等と連携・協力して、地域の農産物や特産品等を使用した川崎ならではの魅力ある飲食・物販サービスを提供します。
- SDGsの要素を取り込んだ環境面に配慮したサービスを提供します。
- みどりを生活に取り入れる仕掛けや仕組みを取り入れます。
- 市民が様々な形で参加できる仕組みを推進します。

●展開イメージ

(飲食)

- ・川崎市の農産物等を使用した料理や川崎市ならではの食文化の発信につながるご当地グルメ等の提供
- ・容器のリユース・リサイクルなどの環境に配慮した取組の推進
- ・エリア内の商店街や飲食店等をめぐりながら、オリジナルメニューを堪能するなど、川崎市の食の魅力を体感できるプログラムの提供等

(物販)

- ・生産者や飲食店、商店街や民間事業者等と連携した川崎市の特産品の提供



川崎市内名産品

「かわさき名産品 2021▶2023」【発行】かわさき名産品認定事業実行委員会
Copyright © KAWASAKI CITY TOURIST ASSOCIATION



「川崎市市制100周年」応援デザイン
「ニューたんメン」カップめんの全国発売
(写真提供：サンヨー食品株式会社)

2. 行催事等計画 (9) 会場運営・管理、交通輸送

●会場運営・管理

- 市民、地域の活動団体、NPO、学校、企業等の多様な主体と連携・協働した会場運営の手法を導入し、環境や安全面に配慮するとともに、誰もが快適に参加できるような適切な会場運営を行います。
- 市民等が広く参加できるボランティア活動等の仕組みを構築し、様々な運営に関わってもらう機会を創出します。
- 様々な技術やノウハウを有する企業や公園施設の指定管理者等と連携し効率的な会場運営、環境面に配慮した取組を推進します。
- 環境先進都市にふさわしい環境負荷低減を意識した会場運営・管理を行います。



写真：運営本部
(信州フェア事例)



写真：情報センター
(くまもとフェア事例)



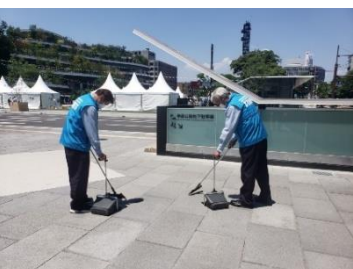
写真：ボランティアセンター
(信州フェア事例)



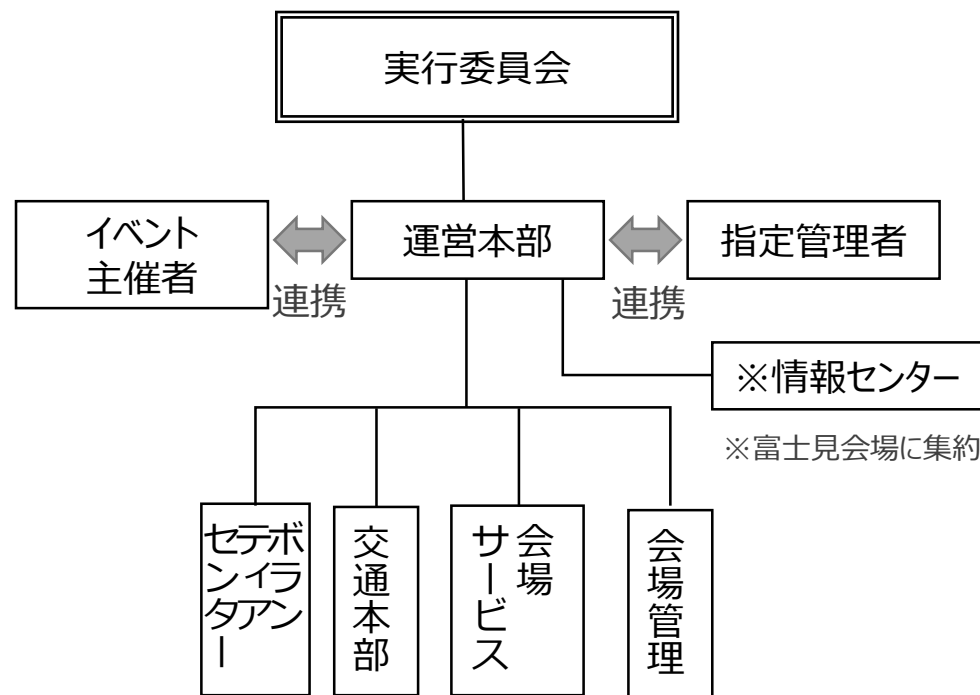
写真：総合案内所
(くまもとフェア事例)



写真：会場警備
(くまもとフェア事例)



写真：清掃
(くまもとフェア事例)



各会場の管理運営体制 (案)

2. 行催事等計画 (9) 会場運営・管理、交通輸送

●交通輸送

<駅からの交通誘導>

- ・最寄り駅から会場へのおすすめルートにおいて、会場外に周辺誘導要員を配置し、会場までの誘導案内を行います。
- ・誘導案内については、**会場外周辺巡回サポートボランティア**など、地域の協力や既存団体と連携し、**来場者をお出迎えする体制づくり**を進めます。
- ・エリアにおけるフェアと連携した様々な取組と併せて、会場にわかりやすく来場できるよう空間づくりを進めます。

<駅と会場間等の交通サポート>

- ・各会場とも最寄り駅から公共交通（路線バスやタクシー）による移動手段が確保されていることから、来場者にわかりやすい適切な案内を実施します。
- ・生田緑地においては、施設間が離れていることや会場内に高低差があることから、**多様な交通手段を活用**しながら、回遊性の向上を目的とした快適な移動手段を展開します。

<駐車場・駐輪場対策>

- ・自転車来場について、**シェアサイクル等の利用推進**や混雑時の**臨時駐輪場所の確保**などの対策を講じます。
- ・会場周辺の違法駐車対策やホームページ等における公共交通利用の呼びかけ等を実施し、一般交通への影響の軽減を図ります。

最寄り駅からコア会場への来場ルート

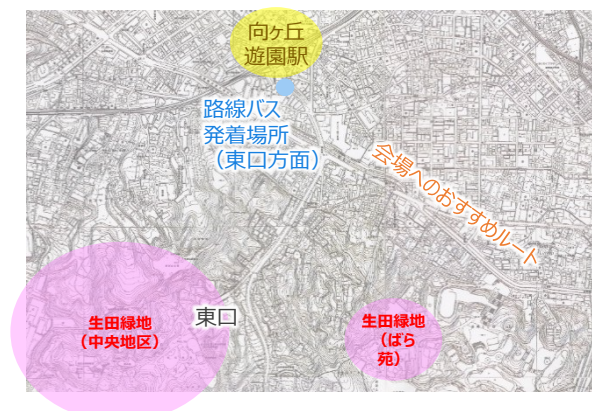
富士見公園



等々力緑地



生田緑地



※路線バスは駅北側から生田緑地西口方面等も存在